

【瀬戸内市民病院】

2月議会に、約32億円の新病院の建設費が提出され可決しました。昨年11月議会で、資材高騰で建設費がふくれ上がったということで、コンサルタントに委託し建設費を抑制しました。

- ・3階を2階に変更
- ・病床を、一般ベッド50床、療養ベッド30床、リハビリ30床に変更
- ・健診棟の整備を延期
- ・保育棟の整備を延期

工事開始 : 8月か9月
完成予定 : 平成27年度中

くさかとしこの一言！

工事が始まります。あとは見守るしかありませんが、問題は今後の運営です。予定しているだけの人が集まり、予定通り運営できることを望みますが、万が一にも多額の赤字がでるようなことになれば、早いうちに対処できるようにする必要があります。また、完成までの間に、より実現可能な運営案にしていけるよう、しっかり追求していかないといけないと思っています。

これらの他にも、瀬戸内市には数々の課題があります。

一つに、火葬場の問題。

牛窓地域の方は、牛窓に火葬場があります。が邑久・長船地域の方は、備前か西大寺を利用していることが大半だと思います。この西大寺の火葬場が実は、岡山市において建て替えは困難として廃止される見込みが強くなっています。

となると、邑久・長船は、葬式難民が発生してしまうことにもなりかねません。岡山市と広域で火葬場を建設する話が以前からでているようですが、なかなか前にすすんでいないのが、現状です。

火葬場も瀬戸内市の課題として、取り組んでいく必要があります。

一つに、浄水場の問題。

水は、ライフラインです。福山浄水場も長船浄水場も、老朽化が進んでいて、全面改修の必要があります。改修にはかなりの年月が必要となりますし、多額の費用も必要となってきます。

行政ニュース とっしん vol.4

目には青葉、本当にさわやかな季節がやってまいりました。今年の桜はいつにもまして見事に咲きほこっていましたが、皆様には、お花見を楽しまれたでしょうか？ 私は、はじめての予算議会(2月議会)を終え、ちょうど一年前皆様のもとを走り回っていたことを思い出します。

あれから一年、何もわからず無我夢中で駆け抜けてきました。少しは皆様のお役に立てているのでしょうか？ たてていたらいいなと願いつつ、もっともっと勉強してしっかりしないといけないと、日々反省の毎日です。

引き続き、力強いご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

今回の私の一般質問は

- ・今年度、『くさかとしこ』の一般質問のその後について
 - ・通学路および生活道路の安全安心について
- を取り上げさせていただきました。

<<通学路および生活道路の安全安心について>>

昨年12月から道路交通法が改正され、自転車の左側通行が強制になっています。

ハードが整っている中央で決められた規則が瀬戸内市のような田舎に適合するのかどうか、大変心配しております。

もっとハード面の点検と整備、市民に対する周知が必要ではないかということを追っていただきました。

皆さんも自転車に乗る場合は、十分気を付けてください。

歩道は基本的に自転車の通行は禁止ですが、下の標識がある歩道は自転車の通行が可能です。

でも、安全が一番です。危ないと感じたら歩道に入ってください。

また、自転車が加害者になる場合が問題になっていますが、行政としても対応が必要ではないかということ強く主張しました。

皆さんも、最近はいろいろな賠償保険があります。

一度、賠償保険も検討、見直しをお勧めします。



自転車歩道通行可

2014年3月6日 山陽新聞 東備版に掲載されました。

有害獣対策補助拡充へ
防護柵や狩猟免許取得

14年度から、防護柵設置に対する補助制度を拡充するとともに、狩猟免許の取得への補助を新設する考えを示した。

山下俊子氏の質問に「防護柵を活用した被害対策、わなを使った捕獲の推進が不可欠」と説明。従来、電気柵や金網の柵のほか、トタン板の柵も設置補助の対象とする。柵の設置費用を半額補助する制度も申請料の取得を後押しする。柵の設置費用を半額補助する制度も申請料の取得を後押しする。

イノシシ・鹿の対策の補助拡大といっても、まだ農地・農業者に限った対策です。今本当に困っているのは市民です。対策の補助を市民全体に広げること。そして、ただ防護をするだけでなく、もっと山ごと困ってしまうといった積極的な対策を訴えていきます。

平成26年4月28日発行
発行責任者 瀬戸内市議会議員
くさか としこ

〒701-4273

瀬戸内市長船町磯上569

TEL/FAX 0869-26-6420

携帯TEL 090-5702-8336

ホームページ

<http://www.kusaka-toshiko.jp/>

【くさかとしこ】が見た瀬戸内市の行政！

ここからが、本当の行政報告となります。
以前からご説明しております通り、瀬戸内市の状況は大変な状況と言わざるを得ません。
その今、3月議会では今年度の予算が審議されました。
そして、このあと詳しく説明しますが、数々の大変な決定がなされました。

瀬戸内市の行政重点課題は、やはりこの3つだと思います。

- 1つは、錦海塩田跡地活用問題
- 1つは、市民病院の建設
- 1つは、図書館の建設

1つずつ、詳しく説明させていただきますので、ご覧ください。

【錦海塩田跡地活用問題】

3月31日、錦海塩田跡地でのメガソーラーの
施行協定書と土地貸付契約書が結ばれました。

〈〈土地貸付契約の詳細〉〉

区分	金額	累計金額	備考
貸付料(建設期間)	年額 1億円	5億円	工事期間5年間を想定
貸付料(売電開始後)	年額 4億円	80億円	運営期間20年間
貸付料(地域振興に関する事業費)	16億円	16億円	H28～H30 年間1億 それ以降年間6500万円
安心安全事業の経費	約30億円		主に、堤防補強工事費
パネル撤去預り金(事業終了時)	約17億円		

くさかとしこの一言！

施行契約が結ばれ一段落というところですが、まだまだこれからいくつものハードルが予想されます。

今後も注意深く見守っていきたいと思います。

そして、ただただ工事の進行を見守るだけではなく、多数の工事関係者・視察および観光で訪れるであろうたくさんの人々を、いかに瀬戸内市に取り込み、人・もの・金を循環させていくかが、これからの瀬戸内市の課題であろうと考えます。

邑久では、竹久夢二生誕130年が、
長船では、軍師『黒田官兵衛』が、
牛窓では、牛窓芸術祭が盛り上がっています。

ぜひ、瀬戸内市全体が活気付くように、頑張っていきたいと思っています。

瀬戸内市の行政課題！

国から交付されている地方交付税は、現在の瀬戸内市で年間約50億円である。

【収入の約31%】

現在は、合併の特例により、旧3町ごとに算出された合算で交付されている。

が、平成27年度から5年間をかけて徐々に減額され、平成32年度以降はこの特例措置がなくなる。

瀬戸内市として算出すると、現在より約12億円減額となり、38億円になってしまう。！！！！

【新図書館】

2月議会に、約8億円の新図書館の建設費が提出されました。
かねてからずっと、新図書館の規模の縮小・見直し・延期を訴えてきました。
今回が最後のチャンスなので精一杯戦いましたが、本当に申し訳ありません。
力足らずでひっくり返すことはできませんでした。

	原案	修正案	削減
規模	2,300㎡	1,200㎡	1,100㎡
図書館部分	2,000㎡	1,000㎡	1,000㎡
	郷土資料館 300㎡	喜之助スペース 150㎡	
		移動図書館スペース 50㎡	
建設費	895,134 千円	488,759 千円	406,375 千円
工事請負費	759,000 千円	388,800 千円	370,200 千円
管理運営費	99,313 千円	58,267 千円	41,046 千円
人件費	37,200 千円	22,320 千円	14,880 千円
物件費	44,798 千円	29,354 千円	15,444 千円
償還費	16,800 千円	6,078 千円	10,722 千円
その他	515 千円	515 千円	0 千円
人件費	10人	6人	4人
正規職員	5人	3人	2人
臨時職員	5人	3人	2人
開架図書	120,000冊	120,000冊	0冊
一般図書	90,000冊	90,000冊	0冊
児童図書	30,000冊	30,000冊	0冊

新中央図書館は現計画の規模を縮小する。
図書館 2000㎡を1000㎡とし、
喜之助スペース150㎡と
移動図書館スペース50㎡は残す。
一般開架スペースについては、
現行約850㎡は確保する。
郷土資料館300㎡は中央公民館
など他の場所を検討する。
閉架書庫は、中央公民館の一部を活用する。

これを、新図書館の見直しを主張する
修正案ということで、提出し議論しました。

これにより、建設費が
406,375千円の削減となる。
また毎年の管理運営費は、
41,046千円の削減となる。

くさかとしこの主張！

今回の修正案は、年間1億円の維持管理費を4千万円縮小して、維持可能な計画に変更しようとするものです。

2,300㎡を1,200㎡に縮小するといっても、機能は削減していません。一般開架スペースは原案のまま確保していますし、喜之助スペースも移動図書館スペースも確保しています。機能は維持したまま、維持可能な規模へと変更しようというものです。

今後、ゴミ袋の値上げ、保育料の値上げ、小児医療費無料の削減、各種補助金のカットが検討されている中で、財政健全化と大規模な図書館建設は、同じ土俵の上で議論されるべきと考えます。

このまま年間1億円の図書館の維持管理費が毎年必要となると、今以上に教育現場の予算が削られていくことを心配します。

今でも教育現場は十分な予算がついているとは思えません。

教育現場はまだまだ修繕をのぞんでいるところがたくさんあります。本当なら学校単位に一律いくらかの予備費をつけてあげることができたら、本当に現場はたすかると思います。

現場は他にも、単市での35人学級に対する補助であるとか、支援が必要な子どもに対する支援員の増員に対する補助であるとか、もっともっと必要としているところがたくさんあると思います。

図書館の維持管理費をすこしでも削減して、教育現場にぜひ使っていただきたい。

今後は、かねてからの約束であります、

【新図書館の開館と同時に、長船の図書室を整備する！！】

という約束について、計画の中身・スケジュールについて追及していきます。

長船の図書室は、公民館と同じ場所に置くべきです。

公民館は一刻も早く、耐震化をするべきです。このことを強く訴えていきます。